# 沿革

**1987**（昭和62年）
4. 1 北海道旅客鉄道株式会社発足
7. 1 国内旅行業営業開始
7.13 幌内線岩見沢～幾春別間・三笠～幌内間運輸営業廃止
12. 1 道外初の営業拠点「東京営業所」を開設
12.19 リゾート列車第3弾「トマム・サホロエクスプレス」運転開始

**1988**（昭和63年）
2. 1 松前線木古内～松前間運輸営業廃止
3.13 青函トンネル開業。海峡線木古内～中小国間開業。札幌～上野間に寝台特急「北斗星」運転開始。海峡線「吉岡海底駅」「竜飛海底駅」「津軽今別駅」、根室線「武佐駅」開業。青函連絡航路（113km）運輸営業廃止。釧網線「川湯駅」を「川湯温泉駅」に改称
4.25 歌志内線砂川～歌志内間運輸営業廃止
11. 3 函館線苗穂～琴似間、札沼線桑園～八軒間連続立体交差完成。721系電車、130形気動車を導入
12.17 リゾート列車第4弾「ニセコエクスプレス」運転開始

**1989**（昭和64年・平成元年）
4. 1 消費税導入（3%）に伴う運賃改定実施
4.30 標津線標茶～根室標津間・中標津～厚床間運輸営業廃止
5. 1 天北線音威子府～南稚内間、名寄線名寄～遠軽間・中湧別～湧別間運輸営業廃止
6. 4 池北線池田～北見間運輸営業廃止
12. 2 札幌～大阪間に寝台特急「トワイライトエクスプレス」運転開始
12.22 リゾート列車第5弾「クリスタルエクスプレス トマム・サホロ」運転開始

**1990**（平成2年）
3.10 深名線「雨煙別駅」「政和温泉駅」「蕗ノ台駅」「白樺駅」廃止
7. 1 千歳線「サッポロビール庭園駅」、海峡線「知内駅」開業
9. 1 L特急「スーパーホワイトアロー」、特急「とかち」運転開始。石北線「伊奈牛駅」、宗谷線「琴平駅」、深名線「新富駅」廃止
10. 1 留萌線「桜庭駅」廃止

**1991**（平成3年）
3.16 特急「はつかり」140km/h運転開始。「札沼線」の愛称を「学園都市線」とする
5.16 根室線釧路～根室間の愛称を「花咲線」とする
7. 1 一般旅行業営業開始

**1992**（平成4年）
7. 1 千歳線「新千歳空港駅」開業。南千歳～新千歳空港間に新線開業。千歳線・室蘭線PRC（自動列車進路制御装置）・PGC使用開始
7.18 リゾート列車第6弾「ノースレインボーエクスプレス」運転開始（愛称決定は11月16日）

**1993**（平成5年）
3.18 急行「まりも」運転終了
4. 1 富良野線に150形気動車を導入

**1994**（平成6年）
2.22 根室線西新得信号場～広内信号場間で特急「おおぞら10号」が強風により脱線転覆
3. 1 新型振子特急「スーパー北斗」運転開始
5.16 函館線砂川～上砂川間運輸営業廃止
11. 1 札幌圏輸送改善。札幌～桑園間3線化

**1995**（平成7年）
3.16 函館線「ほしみ駅」開業。学園都市線太平～篠路間の複線化完成。学園都市線の「東篠路駅」を「拓北駅」へ、「釜谷臼駅」を「あいの里公園駅」へ、「大学前駅」を「北海道医療大学駅」へ改称。札幌駅に「JR北海道電話案内センター」を開設
9. 4 深名線深川～名寄間運輸営業廃止
11.28 新本社ビル竣工式

**1996**（平成8年）
1.10 運賃改定実施（JR三島会社）
6.23 学園都市線新川鉄道高架開業
11.24 根室線帯広鉄道高架開業
12.24 731系電車を導入

**1997**（平成9年）
3.22 特急「スーパーおおぞら」運転開始。客室乗務員「ツインクルレディ」デビュー。札幌圏に201系気動車を導入
4. 1 消費税引き上げ（3%→5%）に伴う運賃改定実施
6. 1 日高線に160形気動車を導入

**1998**（平成10年）
2.25 函館線小樽～旭川、宗谷線旭川～永山間にPRC運用開始
3. 1 快速「海峡」を「ドラえもん海底列車」として運転開始
11.21 札幌駅と新千歳空港駅に「自動改札システム」を導入

**1999**（平成11年）
7.16 札幌～上野間に寝台特急「カシオペア」運転開始
11.28 室蘭線「礼文浜トンネル」でコンクリートはく落事故発生

**2000**（平成12年）
3.11 学園都市線複線高架完成。宗谷線高速化事業完成。261系特急「スーパー宗谷」運転開始
3.29 有珠山の火山活動により室蘭線長万部～東室蘭間で運転見合わせ、函館線倶知安経由の迂回運転開始（3月31日 有珠山噴火、6月8日 室蘭線全面運転再開）
12.25 快速「エアポート」に指定席「uシート」を導入

**2001**（平成13年）
7. 1 特急「おおぞら」が全列車「スーパーおおぞら」化

**2002**（平成14年）
3.16 L特急「スーパーホワイトアロー」が旭川～札幌～新千歳空港間を直通運転
12. 1 海峡線に789系特急電車「スーパー白鳥」運転開始

**2003**（平成15年）
3. 6 「JRタワー」グランドオープン
8. 1 「JR北海道インターネット指定席予約サービス」を開始

**2004**（平成16年）
1.28 DMVの開発について発表
3.12 石勝線「楓駅」廃止
6. 1 新千歳空港駅と札幌駅に「JR北海道外国人インフォメーションデスク」を設置
10. 1 JR北海道グループ会社4社（札幌駅南口開発（株）、札幌駅地下街開発（株）、札幌ターミナルビル（株）、札幌ステーション開発（株））が合併、「札幌駅総合開発（株）」となる

**2006**（平成18年）
3.17 函館線「張碓駅」、札沼線「中徳富駅」、宗谷線「智東駅」「南下沼駅」、石北線「新栄野駅」、留萌線「東幌糠駅」、室蘭線「旭浜駅」廃止
3.18 道内相互発着の特急列車及び急行「はまなす」の全車禁煙化を実施

**2007**（平成19年）
4.14 釧網線浜小清水～藻琴間でDMVの試験的営業運転開始
10. 1 L特急「スーパーカムイ」運転開始

**2008**（平成20年）
10.25 ICカード乗車券「Kitaca」サービスを開始
11.17 根室線新大楽毛～新富士間鉄道高架開業

**2009**（平成21年）
3.14 Kitaca電子マネーサービスを開始。ICカード乗車券「Kitaca」が「Suica」との相互利用サービスを開始
8. 1 札幌鉄道病院の新建物完成に伴い「JR札幌病院」へ改称
12. 1 「JR北海道文化財団」を設立

**2010**（平成22年）
4. 9 735系電車の車両公開（本運用は2012年5月1日）
10.10 函館線旭川鉄道高架開業
12. 4 東北新幹線新青森開業に伴い、特急「スーパー白鳥」・「白鳥」の運転区間が函館～新青森に変更

**2011**（平成23年）
5.27 石勝線清風山信号場構内で列車脱線火災事故が発生
6.18 国土交通大臣より「安全輸送の確保に関する事業改善命令」、鉄道局長より「保安監査の結果等による改善指示」を受領
9.16 「事業改善命令、改善指示に対する改善措置」及び「安全性向上のための行動計画」の報告書を国土交通省に提出
10.23 函館線野幌鉄道高架開業

**2012**（平成24年）
6. 1 学園都市線桑園～北海道医療大学間電化開業。733系電車を導入
8.25 北海道新幹線新函館（仮称）～札幌間の建設工事起工式を開催

**2013**（平成25年）
3.23 交通系ICカードの全国相互利用サービス開始
5.31 運輸安全委員会から石勝線列車脱線火災事故に係る「鉄道事故調査報告書」が公表される。当社は「勧告」を受領
9.19 函館線大沼駅構内で貨物列車脱線事故が発生
9.21 道内複数箇所で整備基準値を超える軌間変位が判明。脱線箇所について社内規程どおりに線路の補修がなされていなかった事象が判明
9.25 新たに線路の整備基準値を超えていた区間が判明
10. 4 国土交通省鉄道局長から「保安監査の結果による当面の改善指示について」を受領
10.25 国土交通省鉄道局長から「保安監査の結果による当面の改善指示について（その2）」を受領
11. 1 JR東日本からの社員受け入れ。メンテナンス体制強化のため、特急列車の最高速度と運転本数の見直しを実施
11.12 函館保線管理室で線路検査データの改ざんが判明
11.29 国土交通省鉄道局長から「保安監査の結果による当面の改善指示について（その3）」を受領

**2014**（平成26年）
1.21 「軌道変位検査データ書き換え等に係る調査結果及び再発防止対策」について発表
1.24 国土交通省から「輸送の安全に関する事業改善命令及び事業の適切かつ健全な運営に関する監督命令」を受領
2.10 国土交通省及び運輸安全委員会が当社を刑事告発
3.14 海峡線「知内駅」「吉岡海底駅」「竜飛海底駅」廃止
4. 1 消費税引き上げ（5%→8%）に伴う運賃改定実施
5.12 江差線木古内～江差間運輸営業廃止
5.30 「根室線音別駅構内で発生した軌道整備不良と作業後の不正な状態確認が判明した事象」について発表
6.12 「JR北海道再生推進会議」を設置
7.23 「事業改善命令・監督命令による措置を講ずるための計画」を策定し、国土交通省へ提出
8.30 メンテナンス強化のために最高速度を見直し
9.19 「保線安全の日」を制定
12.24 並行在来線（五稜郭～木古内）を運営する第三セクター鉄道会社が「道南いさりび鉄道株式会社」に決定

**2015**（平成27年）
1. 8 日高線厚賀～大狩部間で土砂流出
1.14 北海道新幹線札幌延伸の5年前倒しが決定
3.14 寝台特急「トワイライトエクスプレス」、711系電車運転終了
3.20 「安全投資と修繕に関する5年間の計画」を国土交通省へ提出
4. 1 「JR北海道グループ経営理念」「社是」を改定、行動指針「私たちの誓い」を制定
6.26 JR北海道再生推進会議より「JR北海道再生のための提言書」を受領
8.22 寝台特急「北斗星」運転終了

**2016**（平成28年）
3.20 寝台特急「カシオペア」運転終了
3.21 特急「スーパー白鳥」・「白鳥」、急行「はまなす」運転終了
3.26 北海道新幹線新青森～新函館北斗間開業。石勝線「十三里駅」「東追分駅」、根室線「花咲駅」、石北線「上白滝駅」「旧白滝駅」「下白滝駅」「金華駅」、函館線「鷲ノ巣駅」廃止。ご利用の少ない普通列車の見直しを実施
5.27 「安全再生の日」を制定
7.29 「持続可能な交通体系のあり方」について発表
11.18 「当社単独では維持困難な線区」について発表
12. 5 留萌線留萌～増毛間運輸営業廃止

**2017**（平成29年）
3. 4 特急の運転体系の見直し（札幌～稚内間・札幌～網走間）、札幌～旭川間に789系特急電車による特急「ライラック」運転開始。千歳線「美々駅」、根室線「島ノ下駅」「稲士別駅」「上厚内駅」、釧網線「五十石駅」、函館線「東山駅」「姫川駅」「桂川駅」「北豊津駅」「蕨岱駅」廃止
12. 6 JR北海道再生推進会議有志による「声明文」を受領

**2018**（平成30年）
3.17 261系車両を新製導入し、特急「北斗」が全列車「スーパー北斗」化。根室線「羽帯駅」廃止
3.25 特急「旭山動物園号」運転終了
4. 1 「札幌交通機械（株）」と「札幌工営（株）」が合併、社名は「札幌交通機械（株）」となる。「JR北海道ホテルズ（株）」と「（株）北海道JRインマネジメント」が合併、社名は「JR北海道ホテルズ（株）」となる。石北線・釧網線の一部エリアで「スマホ定期券」サービスを開始
6.17 「JR北海道の事業範囲見直しに係る関係者会議」においてJR北海道グループの「経営再生の見通し」（案）を説明
7.27 国土交通大臣より「JR北海道の経営改善について」の取り組みを着実に進めることを内容とする監督命令を受領
9. 6 北海道胆振東部地震が発生。道内の全列車が運休
11.13 「JR北海道再生推進会議」が13回をもって終了

**2019**（平成31年・令和元年）
2.28 客室乗務員による車内サービス終了
3.16 北海道新幹線が青函トンネル内の運転速度を160km/hに引き上げ。根室線「直別駅」「尺別駅」「初田牛駅」廃止
4. 1 石勝線新夕張～夕張間運輸営業廃止
4. 9 「JR北海道グループ長期経営ビジョン 未来2031」「中期経営計画2023」発表
4.18 佐川急便との貨客混載事業を本格稼働
5.13 北海道新幹線新函館北斗～札幌間の高速化の要請（最高速度 320km/h）
7.27 宗谷線で「風っこ そうや」号運転開始（初日は雨のため運休）
10. 1 消費税引き上げ（8%→10%）に伴う運賃改定実施
11.11 「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合」設立

**2020**（令和2年）
1.16 北海道新幹線札幌駅について計画変更案を発表
3.14 特急列車愛称名「スーパー」の取りやめ。新型電気式気動車H100形を導入。根室線「古瀬駅」、釧網線「南弟子屈駅」廃止
3.23 新型コロナの影響により、特急列車の減便・減車を実施
4. 1 空知運転所跡地で太陽光発電事業売電開始。「ジェイ・アール北海道バス㈱」と「札新開発㈱」が合併、社名は「ジェイ・アール北海道バス㈱」となる。「ジェイアール北海道レンタリース㈱」と「㈱北海道ジェイ・アール・エージェンシー」が合併、社名は「㈱JR北海道ソリューションズ」となる
5. 7 札沼線北海道医療大学～新十津川間運輸営業廃止
8.28 「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」運転開始
10.17 261系5000代「はまなす」編成デビュー
12.31 青函トンネル内における北海道新幹線の時間帯区分時速210km営業運転を実施（～1/4）

**2021**（令和3年）
3.13 函館線「伊納駅」、宗谷線「南比布駅」「北比布駅」「東六線駅」「北剣淵駅」「下士別駅」「北星駅」「南美深駅」「紋穂内駅」「豊清水駅」「安牛駅」「上幌延駅」「徳満駅」、石北線「北白ノ出駅」「将軍山駅」「東雲駅」「生野駅」、釧網線「南斜里駅」廃止
3.24 北海道新幹線を使用した宅配便輸送を開始
3.26 当社に対する経営支援の根拠となる「日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律等の一部を改正する法律案」が可決・成立
4. 1 日高線鵡川～様似間運輸営業廃止
4.15 北海道・東北新幹線を使用した荷物（鮮魚等）輸送を開始
4.30 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から支援に伴う出資300億円を受け入れ
5. 8 261系5000代「ラベンダー」編成デビュー
10. 1 北海道キヨスク（株）が（株）北海道ジェイ・アール・フレッシュネス・リテールを吸収合併。261系5000代ラベンダー編成が当社から、北海道高速鉄道開発（株）に移管

**2022**（令和4年）
3.12 函館線「池田園駅」「流山温泉駅」「銚子口駅」「石谷駅」「本石倉駅」、根室線「糸魚沢駅」、宗谷線「歌内駅」廃止。学園都市線「ロイズタウン駅」開業。宗谷線「東風連駅」を「名寄高校駅」へ改称・移転
3.16 福島県沖地震に伴い、福島～白石蔵王間でH5系が脱線
3.31 大阪営業所閉所
9.30 キハ281系定期運行終了。パセオ営業終了
10.16 札幌駅1番線を廃止し、11番線を使用開始
10.30 国と北海道による支援を受けたH100形「釧網線・花咲線ラッピング」車両がデビュー
12.25 北海道ボールパーク開業に向け改修した北広島駅を使用開始

**2023**（令和5年）
3.17 キハ183系定期運行終了。「北5西1・西2地区市街地再開発組合」設立
3.18 日高線「浜田浦駅」廃止
4. 1 留萌線石狩沼田～留萌間運輸営業廃止
5.20 室蘭線に737系電車を導入
8.31 北5西1・西2地区第一種市街地再開発事業に伴いエスタ閉店

**2024**（令和6年）
1.30 アクションプランの令和元年度からの5年間の取り組みについて、総括的な検証を実施し、国土交通省に報告
3.15 国土交通大臣より監督命令を受領
3.16 石勝線「滝ノ上駅」、宗谷線「初野駅」「恩根内駅」、石北線「愛山駅」、函館線「中ノ沢駅」廃止。一部特急列車の「全車指定席化」実施。「エアポート」日中時間帯毎時6本化。全快速列車を桑園駅に停車。IC カード Kitaca エリア拡大
4. 1 「JR北海道グループ中期経営計画2026」発表。根室線富良野～新得間運輸営業廃止
4.29 青函トンネル内における北海道新幹線の時間帯区分時速260km営業運転を実施（4/29,5/4-7）
11.16 函館線森～石倉間において貨物列車が脱線

**2025**（令和7年）
2.12 砂川駅構内で発生した線路内作業時における取り扱いの不備を受け、本社で北海道運輸局による保安監査の実施
3.15 根室線「東滝川駅」「東根室駅」、宗谷線「雄信内駅」「南幌延駅」「抜海駅」廃止
3.31 北海道運輸局長より「鉄道の安全輸送の確保について」の指示を受ける。北海道ジェイ・アール都市開発（株）が、合同会社BASE JAPANの全出資持分を取得し、子会社化